

．ゴルフ練習場の概況

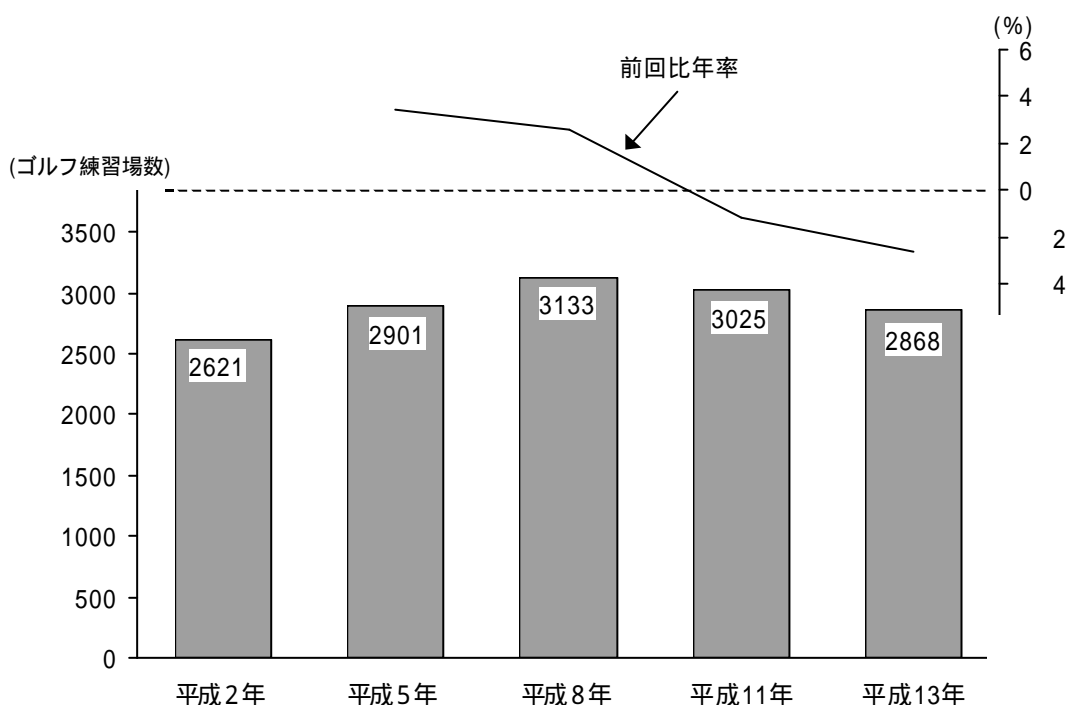
- ゴルフ練習場数の減少続く、また練習打席数は、はじめての減少 -

・ ゴルフ練習場数	2868ゴルフ練習場	(対11年比	5.2%減)
・ 就業者数	2万7460人		
・ 年間売上高	1691億円	("	18.1%減)
1ゴルフ練習場当たり	5896万円	("	13.6%減)
就業者1人当たり	616万円		
・ 年間利用者数	1億 477万人	("	10.5%減)

1．ゴルフ練習場数

平成 13 年のゴルフ練習場数は、2868 ゴルフ練習場、前回調査の平成 11 年に比べ 157 ゴルフ練習場減、 5.2%の減少となった。平成 2 年の調査開始後、はじめての減少となった平成 11 年に続き、2 調査連続の減少となったが、その減少幅は前回比年率 2.6%減と、平成 11 年調査時の前回比年率 1.2%減を上回っている。

ゴルフ練習場数の推移



経営組織別（資本金規模別）

経営組織別にゴルフ練習場数をみると、「会社」が 2443 ゴルフ練習場と全体の 85.2%を占めており、「個人」は 379 ゴルフ練習場（構成比 13.2%）、「会社以外の法人・団体」は 46 ゴルフ練習場であった。前回（平成 11 年）調査と比較すると、「会社」が 150 ゴルフ練習場減、「個人」が 7 ゴルフ練習場減となり、「会社」の割合はわずかながら縮小し

ている。

このうち「会社」について、資本金規模別にみると、資本金 5 千万円未満が 2085 ゴルフ練習場（構成比 72.7%）とその大半を占めている。

経営組織別、資本金規模別のゴルフ練習場数

		平成11年	平成13年	構成比 (%)	増減数	対11年比 (%)
ゴルフ練習場数計		3,025	2,868	100.0	157	5.2
会 社	資本規模	2,593	2,443	85.2	150	5.8
	5 千万円未満	2,195	2,085	72.7	110	5.0
	5 千万円以上	398	358	12.5	40	10.1
会社以外の法人・団体		46	46	1.6	0	0.0
個人		386	379	13.2	7	1.8

就業者規模別

就業者規模別にゴルフ練習場数をみると、就業者数「10人～29人」が1029 ゴルフ練習場（構成比 35.9%）、以下、「5人～9人」が935 ゴルフ練習場（同 32.6%）、「1人～4人」が828 ゴルフ練習場（同 28.9%）と続いており、就業者数9人以下の小規模ゴルフ練習場が全体の6割超を占めている。

就業者規模別のゴルフ練習場数

		平成13年	構成比 (%)
ゴルフ練習場数計		2,868	100.0
1 人 ～ 4 人		828	28.9
5 人 ～ 9 人		935	32.6
10 人 ～ 29 人		1,029	35.9
30 人 ～ 49 人		64	2.2
50 人以上		12	0.4

練習打席数規模別

練習打席数規模別にゴルフ練習場数をみると、「20打席～39打席」が882 ゴルフ練習場（構成比 30.8%）と最も多く、次いで、「40打席～59打席」が750 ゴルフ練習場（同 26.2%）、「60打席～79打席」が454 ゴルフ練習場（同 15.8%）、「19打席以下」が432 ゴルフ練習場（同 15.1%）と続いている。前回調査と比べると、すべての区分で減少しており、中でも「19打席以下」及び「100打席以上」の両極規模で減少幅が大きい。

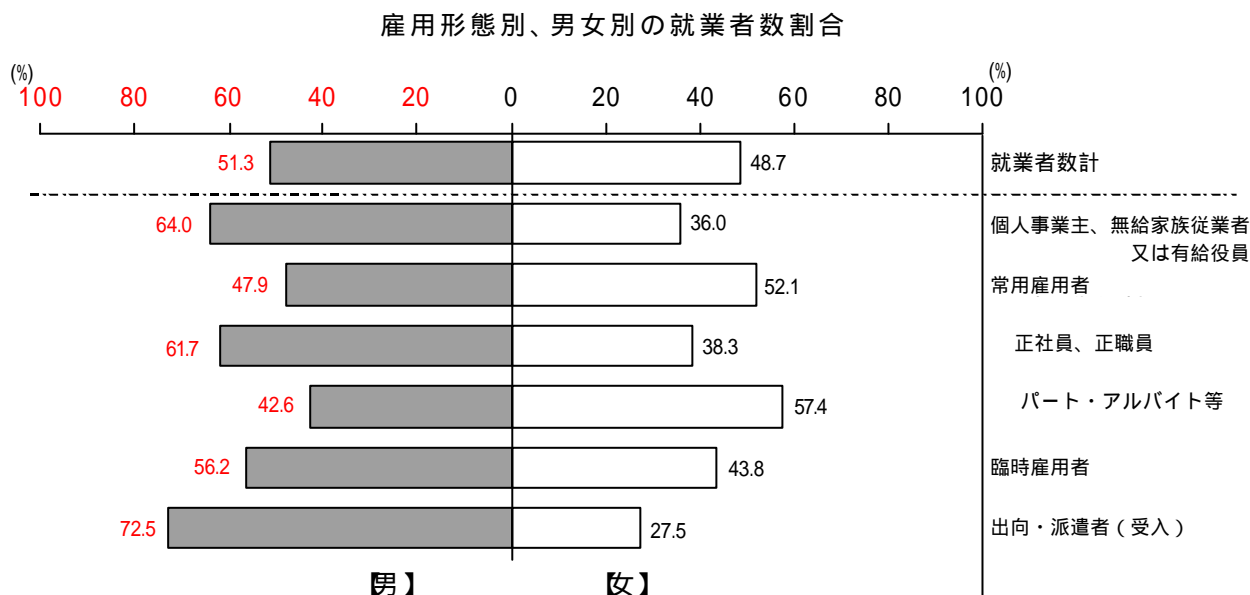
練習打席数規模別のゴルフ練習場数

		平成11年	平成13年	構成比 (%)	増減数	対11年比 (%)
ゴルフ練習場数計		3,025	2,868	100.0	157	5.2
19 打席以下		492	432	15.1	60	12.2
20 打席 ～ 39 打席		909	882	30.8	27	3.0
40 打席 ～ 59 打席		770	750	26.2	20	2.6
60 打席 ～ 79 打席		476	454	15.8	22	4.6
80 打席 ～ 99 打席		220	207	7.2	13	5.9
100 打席以上		158	143	5.0	15	9.5

2. 就業者数

平成13年のゴルフ練習場の就業者数は、2万7460人であった。また、1ゴルフ練習場当たりの就業者数は、9.6人となっている。

		就業者数 (人)	構成比 (%)
就業者数計		27,460	100.0
性別	男	14,094	51.3
	女	13,366	48.7
雇用形態別	個人事業主、無給家族従業者 又は有給役員	3,980	14.5
	常用雇業者	20,807	75.8
	正社員、正職員	5,764	21.0
	パート・アルバイト等	15,043	54.8
	臨時雇業者	2,171	7.9
	出向・派遣者(受入)	502	1.8
部門別	管理・営業	5,756	21.0
	フロント	8,456	30.8
	指導員	1,910	7.0
	その他(食堂・売店(直営)を含む) 出向・派遣者(受入)	10,836	39.5
	502	1.8	



男女別

男女別に就業者数をみると、「男」が1万4094人(構成比51.3%)、「女」が1万3366人(48.7%)と、おおむね半々の割合となっている。就業者数における女性の割合は、今回調査の娯楽関連産業8業種^(注)の中では比較的高いものとなっている。

(注) 今回調査の娯楽関連産業の対象業種については、「利用上の注意」を参照。

雇用形態別

雇用形態別に就業者数をみると、「正社員、正職員」が 5764 人（構成比 21.0%）、「パート・アルバイト等」が 1万 5043 人（同 54.8%）と、常用雇用者が 8 割近くを占め、「個人事業主、無給家族従業者又は有給役員」は 3980 人（同 14.5%）、「臨時雇用者」は 2171 人（同 7.9%）、「出向・派遣者（受入）」は 502 人（同 1.8%）となっている。

前回（平成 11 年）調査と比べると、「正社員・正職員」が前回比 20.5%の減少であったのに対し、「パート・アルバイト等」が 26.6%の大幅増加となっている。これは、労働コスト削減を目的とした「正社員、正職員」から「パート・アルバイト等」への転換の動きがあると考えられる。

部門別

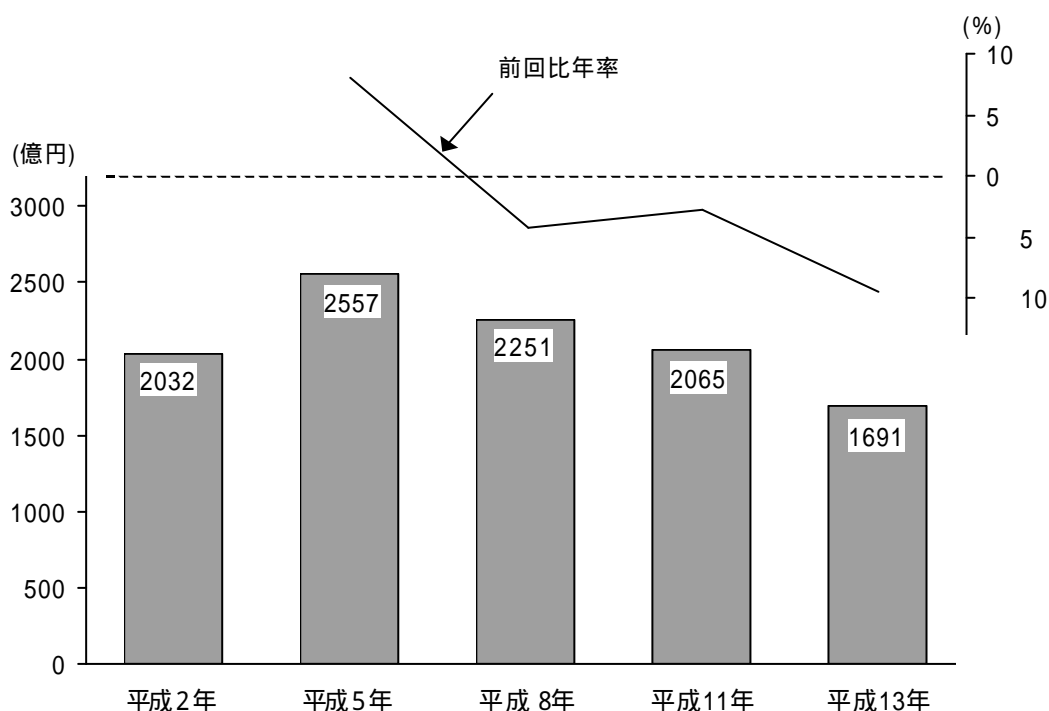
部門別に就業者数をみると、「その他部門」が就業者数の約 4 割を占め、次いで、「フロント部門」が約 3 割、「管理・営業部門」が約 2 割、「指導員部門」が 1 割未満となっている。なお、「指導員部門」は、前回調査に比べ 4 割以上の大幅減となっており、これは、指導員を外部からの受入に依存する傾向がみられることによる。

3.年間売上高

平成 13 年のゴルフ練習場の年間売上高は、1691 億円、前回（平成 11 年）比 18.1%の減少となり、第 1 回調査の平成 2 年以降維持してきた年間売上高 2000 億円を大幅に下回った。年間売上高は、バブル崩壊を機とするゴルフブームの一段落等もあり、平成 8 年、11 年に続き 3 調査連続の減少と低迷が続いており、平成 13 年の前回比年率は 9.5%減と最大の下げ幅となっている。

なお、1 ゴルフ練習場当たりの年間売上高は 5896 万円、前回比 13.6%減、就業者 1 人当たりの年間売上高は 616 万円であった。

ゴルフ練習場部門の年間売上高推移



収入区分別

収入区分別に年間売上高をみると、「利用料金収入」が1578億円（構成比93.3%）と、そのほとんどを占めている。

収入区分別の年間売上高

	平成11年 (百万円)	平成13年 (百万円)	構成比 (%)	対11年比 (%)
ゴルフ練習場部門の年間売上高計	206,450	169,084	100.0	18.1
利用料金収入	190,219	157,779	93.3	17.1
年・月会費収入	3,283	2,650	1.6	19.3
その他(食堂・売店(直営)を含む)	12,949	8,654	5.1	33.2

就業者規模別

就業者規模別に年間売上高をみると、「10人～29人」が987億円（構成比58.4%）、次いで「5人～9人」が365億円（同21.6%）と、この2区分でゴルフ練習場全体の年間売上高の8割を占めている。

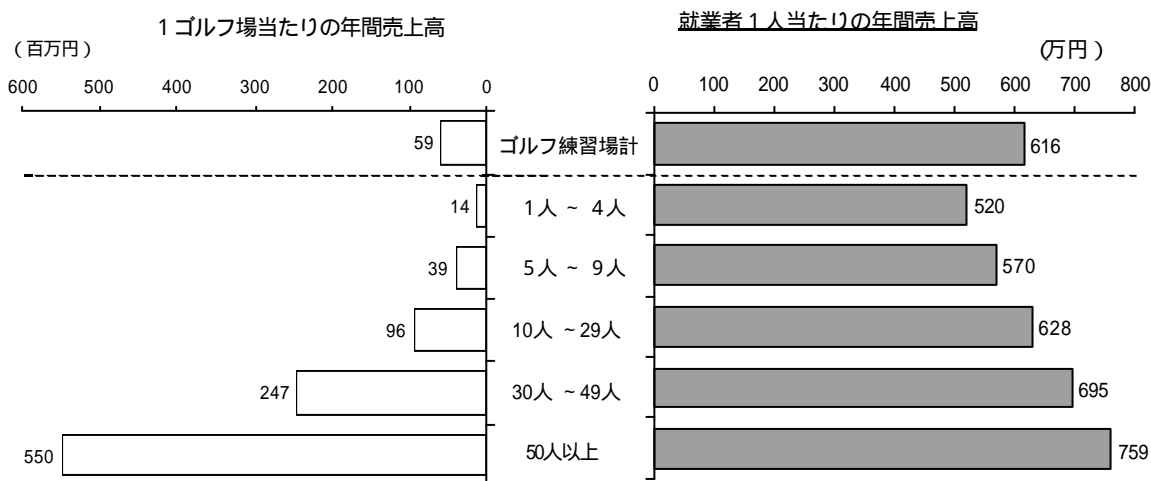
就業者規模別の年間売上高

	平成13年 (百万円)	構成比 (%)	単位当たりの年間売上高(万円)	
			1ゴルフ練習場 当たり	就業者 1人当たり
年間売上高計	169,084	100.0	5,896	616
1人～4人	11,508	6.8	1,390	520
5人～9人	36,451	21.6	3,899	570
10人～29人	98,736	58.4	9,595	628
30人～49人	15,791	9.3	24,673	695
50人以上	6,598	3.9	54,982	759

就業者規模別に1ゴルフ練習場当たりの年間売上高をみると、就業者規模が大きくなるにつれ売上高も高くなっているが、なかでも就業者「50人以上」では5億4982万円と群を抜いて高いものとなっている。

就業者1人当たりの年間売上高をみると、就業者「50人以上」が759万円と最も高く、就業者規模が大きくなるにつれ就業者1人当たりの年間売上高も大きくなっている。

就業者規模別にみる単位当たりの年間売上高



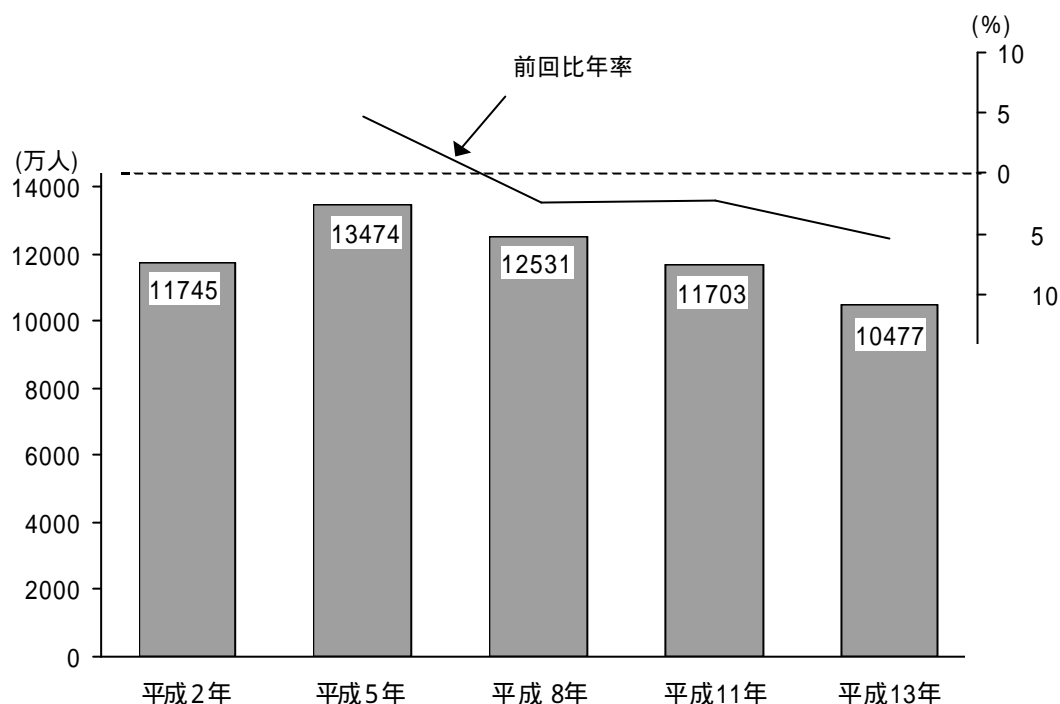
4. 利用者数

平成13年のゴルフ練習場の年間利用者数は、1億477万人、前回(平成11年)に比べ10.5%減と、年間売上高と同様3調査連続の減少であった。また、1ゴルフ練習場当たりの年間利用者数は、3万6531人、前回に比べ5.6%の減少であった。

年間利用者数

年間利用者数を前回比年率でみると、5.4%減と最大の下げ幅となっている。

年間利用者数の推移



練習打席数規模別に年間利用者数をみると、「40打席～59打席」(構成比25.7%)と「60打席～79打席」(同24.8%)で利用者全体の半分以上を占めている。前回と比べると、「100打席以上」の大規模ゴルフ練習場が16.4%の大幅な減少となったのをはじめ、利用者数はすべての区分で減少となっている。

また、1ゴルフ練習場当たりの年間利用者数も、すべての区分で前回は下回る結果となった。

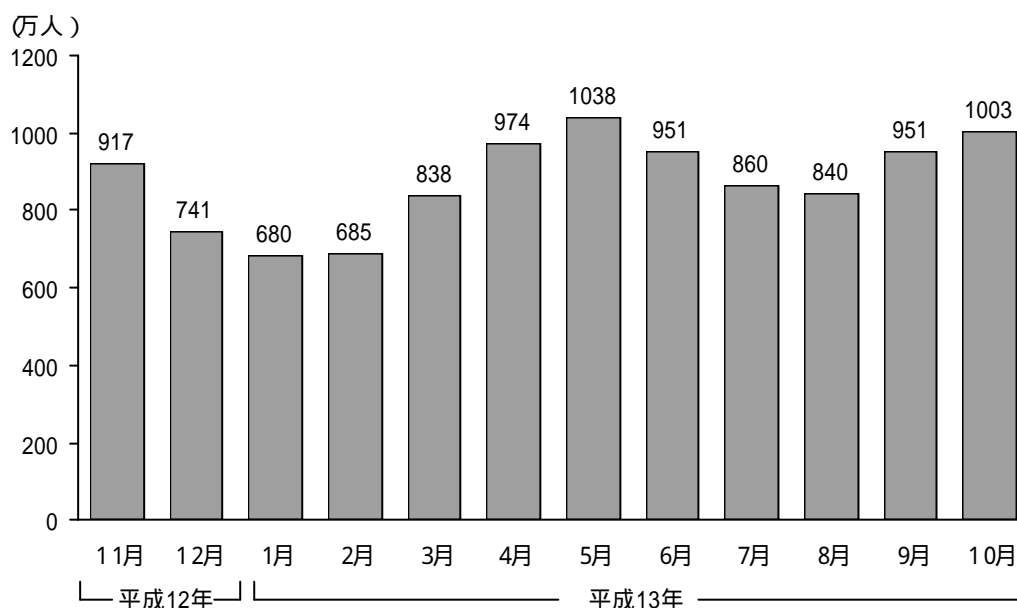
練習打席数規模別の年間利用者数

	年間利用者数				1ゴルフ練習場当たり年間利用者数		
	平成11年 (人)	平成13年 (人)	構成比 (%)	対11年比 (%)	平成11年 (人)	平成13年 (人)	対11年比 (%)
年間利用者数計	117,026,434	104,771,105	100.0	10.5	38,686	36,531	5.6
19打席以下	3,146,339	2,719,760	2.6	13.6	6,395	6,296	1.5
20打席～39打席	17,407,224	15,730,635	15.0	9.6	19,150	17,835	6.9
40打席～59打席	29,083,858	26,975,311	25.7	7.2	37,771	35,967	4.8
60打席～79打席	28,760,403	25,953,451	24.8	9.8	60,421	57,166	5.4
80打席～99打席	17,748,447	15,929,655	15.2	10.2	80,675	76,955	4.6
100打席以上	20,880,163	17,462,293	16.7	16.4	132,153	122,114	7.6

月別利用者数

年間利用者数を月別にみると、最も利用者数が多いのがゴールデンウィークを含む5月（1038万人、構成比9.9%）であり、次いで10月（1003万人、同9.6%）、4月（974万人、同9.3%）の順となっている。また、年間利用者数が少ない月は、冬場の1月（680万人、同6.5%）、2月（685万人、同6.5%）、12月（741万人、同7.1%）と夏休み期間である8月（840万人、同8.0%）となっている。ゴルフ練習場においてもゴルフ場と同様に、気候が良く過ごしやすい時期に利用者が多くなっている。

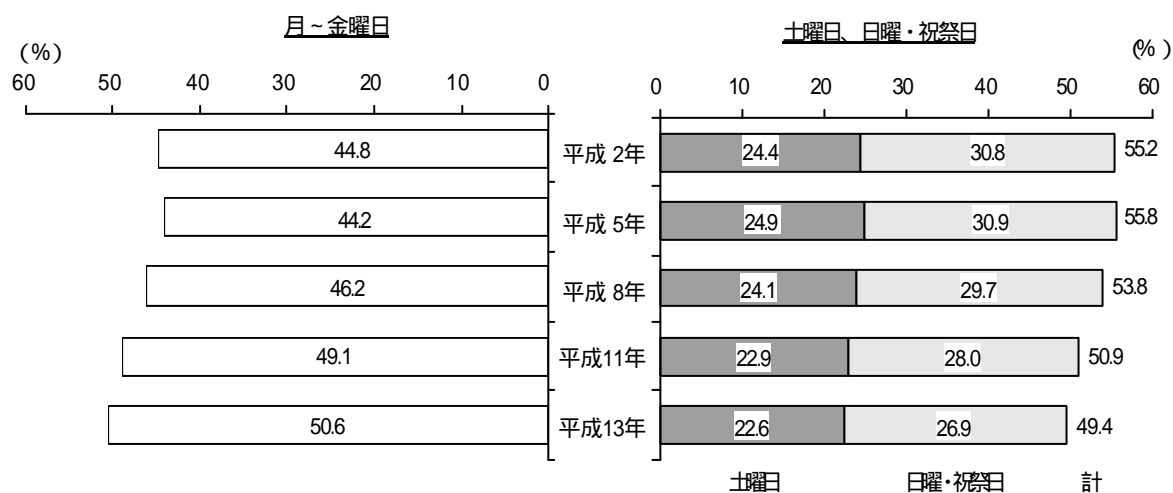
月別利用者数の推移



曜日別利用者数

年間利用者数を曜日別にみると、「月～金曜日」と「土曜日」、「日曜・祝祭日」の割合は、前回までは「土曜日」、「日曜・祝祭日」が高かったが、今回調査の平成13年で初めて「月～金曜日」が過半数を上回っている。

曜日別利用者数の推移



利用料金

利用料金をみると、1球制を採用しているゴルフ練習場での100球当たりの平均利用料金は、前回調査に比べ会員、非会員いずれも「月～金曜日」、「土曜日」、「日曜・祝祭日」すべて低下となっている。

100球当たりの利用料金
(貸玉の1球制を採用しているゴルフ練習場)

		平成5年 (円)	平成8年 (円)	平成11年 (円)	平成13年 (円)	対11年比 (%)
会 員	月～金曜日	723	690	716	706	1.4
	土曜日	757	717	763	747	2.1
	日曜・祝祭日	764	716	765	750	2.0
非 会 員	月～金曜日	905	849	868	857	1.3
	土曜日	963	891	933	917	1.7
	日曜・祝祭日	968	892	936	920	1.7

5.練習打席数

平成13年のゴルフ練習場の練習打席数は、13万3034打席、前回(平成11年)調査に比べ7572打席減、前回比5.4%の減少と、調査開始以来、初めての減少となった。

練習打席数の状況

		平成11年	平成13年	対11年比 (%)	増減数
練習打席数		140,606	133,034	5.4	7,572
1ゴルフ練習場当たりのゴルフ練習打席数(打席)		46.5	46.4	0.2	0.1
1ゴルフ練習打席当たりの年間売上高(万円)		147	127	13.6	20
1ゴルフ練習打席当たりの年間利用者数(人)		832	788	5.3	44

1ゴルフ練習場当たりの練習打席数

1ゴルフ練習場当たりの練習打席数は、46.4打席であった。第1回調査である平成2年(39.4打席)以降、5年(43.2打席)、8年(44.6打席)、11年(46.5打席)と連続の増加であったが、13年は46.4打席と前回比ほぼ横ばいとどまっている。

1ゴルフ練習打席当たりの年間売上高

1ゴルフ練習打席当たりの年間売上高は、127万円(前回比13.6%減)と、平成8年以降3調査連続の減少となり、年間売上高のピークである平成5年(204万円)の6割程度の水準にまで落ち込んでいる。

1ゴルフ練習打席当たりの年間利用者数

1ゴルフ練習打席当たりの年間利用者数は、788人(前回比5.3%減)と、第1回調査以降減少傾向にある。

6. 会員数

ゴルフ練習場の会員数をみると、「法人会員」が1万7237口、前回（平成11年）比29.4%の減少となったのに対し、「個人会員」は58万5670人、同0.5%の増加となっている。

「個人会員」を男女別にみると、「男」は49万2070人、前回比0.5%の微減であったが、「女」は9万3600人、同6.4%の増加となっている。

会員数の推移

	平成8年	平成11年	平成13年	対11年比 (%)
法人会員(口)	22,917	24,418	17,237	29.4
個人会員(人)	555,866	582,521	585,670	0.5
男	466,565	494,524	492,070	0.5
女	89,301	87,997	93,600	6.4

「個人会員」を男女別・年代別にみると、男女とも「60歳以上」が前回比、構成比とも大幅増となっている。男性では20代～50代で減少、女性では40代以外は増加となっている。

男女別・年代別個人会員数

	合 計				男				女			
	平成11年 (人)	平成13年 (人)	構成比 (%)	対11年比 (%)	平成11年 (人)	平成13年 (人)	構成比 (%)	対11年比 (%)	平成11年 (人)	平成13年 (人)	構成比 (%)	対11年比 (%)
会 員 数 計	582,521	585,670	100.0	0.5	494,524	492,070	100.0	0.5	87,997	93,600	100.0	6.4
20歳未満	6,654	7,862	1.3	18.2	5,498	5,717	1.2	4.0	1,156	2,145	2.3	85.6
20代	41,509	40,744	7.0	1.8	34,265	33,207	6.7	3.1	7,244	7,537	8.1	4.0
30代	93,287	91,403	15.6	2.0	77,989	75,623	15.4	3.0	15,298	15,780	16.9	3.2
40代	166,933	148,626	25.4	11.0	137,992	122,151	24.8	11.5	28,941	26,475	28.3	8.5
50代	180,297	175,085	29.9	2.9	153,292	146,048	29.7	4.7	27,005	29,037	31.0	7.5
60歳以上	93,841	121,950	20.8	30.0	85,488	109,324	22.2	27.9	8,353	12,626	13.5	51.2

7. 事業所全体の年間売上高及び年間営業費用

ゴルフ練習場を営む事業所全体の年間売上高は、2305億円であった。このうち、「ゴルフ練習場部門」は1691億円、「ゴルフ練習場部門以外」が614億円で、「ゴルフ練習場部門以外」は事業所全体の売上高の3割弱を占めている。

事業所全体の年間売上高

	平成13年 (百万円)	構成比 (%)
事業所全体の年間売上高	230,490	100.0
ゴルフ練習場部門計	169,084	73.4
ゴルフ練習場部門以外の計	61,406	26.6
他のスポーツ施設収入	16,407	7.1
食堂・売店(直営)売上収入	18,696	8.1
その他の収入	26,303	11.4

ゴルフ練習場部門以外の年間売上高を収入区別にみると、「その他の収入」が 263 億円（構成比 11.4%）、「食堂・売店（直営）売上収入」が 187 億円（同 8.1%）、「他の施設収入」が 164 億円（同 7.1%）であった。

ゴルフ練習場を営む事業所全体（ゴルフ練習場部門以外を含む）の年間営業費用は、2004 億円、事業所全体の年間売上高に占める営業費用比率は 86.9%となっている。内訳をみると、「給与支給総額」が 704 億円（構成比 35.1%）、「その他の営業費用」が 539 億円（同 26.9%）、「賃借料」が 386 億円（同 19.3%）、「施設管理費」が 249 億円（同 12.4%）となっている。

事業所全体の年間営業費用

	平成13年 (百万円)	構成比 (%)
年間営業費用計	200,395	100.0
給与支給総額	70,436	35.1
施設管理費	24,896	12.4
賃借料	38,643	19.3
土地・建物	35,947	17.9
機械・装置	2,696	1.3
食堂・売店（直営）売上原価	12,557	6.3
その他の営業費用	53,863	26.9

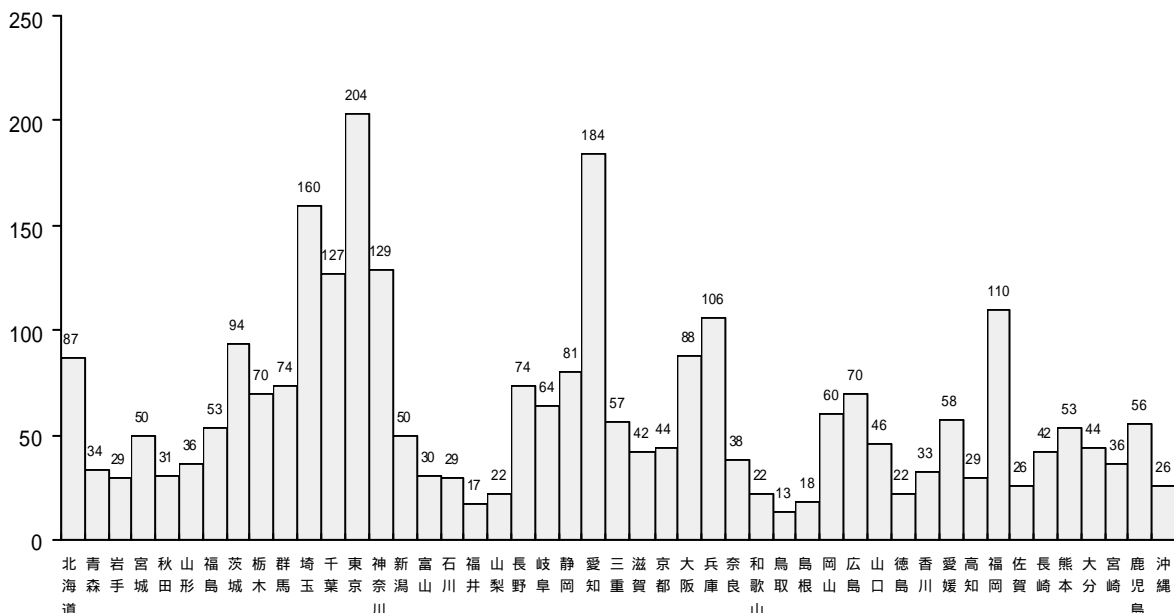
8.都道府県別の動向

ゴルフ練習場数

ゴルフ練習場数を都道府県別にみると、東京が 204 ゴルフ練習場（構成比 7.1%）と最も多く、以下、愛知 184 ゴルフ練習場（同 6.4%）、埼玉 160 ゴルフ練習場（同 5.6%）、神奈川 129 ゴルフ練習場（同 4.5%）、千葉 127 ゴルフ練習場（同 4.4%）、福岡 110 ゴルフ練習場（同 3.8%）、兵庫 106 ゴルフ練習場（同 3.7%）と続いており、これら 7 県が 100 ゴルフ練習場以上となっている。この 7 県を含めた上位 10 県のうち、8 県が政令指定都市（特別区を含む）を有する県である。

ゴルフ練習場数

(ゴルフ練習場数)



前回（平成11年）と比べると、ゴルフ練習場数は、北海道、宮城、埼玉、三重など12県で増加、一方、千葉、神奈川、大阪、東京、愛知など32県で減少となっている。なお、福島、石川、高知は増減無しの前回比横ばいであった。

都道府県別のゴルフ練習場数

	平成10年	平成13年	構成比 (%)	対11年差		平成10年	平成13年	構成比 (%)	対11年差
全国計	3,025	2,868	100.0	157	三重	47	57	2.0	10
北海道	55	87	3.0	32	滋賀	46	42	1.5	4
青森	33	34	1.2	1	京都	38	44	1.5	6
岩手	34	29	1.0	5	大阪	105	88	3.1	17
宮城	33	50	1.7	17	兵庫	119	106	3.7	13
秋田	23	31	1.1	8	奈良	36	38	1.3	2
山形	38	36	1.3	2	和歌山	26	22	0.8	4
福島	53	53	1.8	0	鳥取	12	13	0.5	1
茨城	102	94	3.3	8	島根	21	18	0.6	3
栃木	83	70	2.4	13	岡山	62	60	2.1	2
群馬	73	74	2.6	1	広島	82	70	2.4	12
埼玉	147	160	5.6	13	山口	51	46	1.6	5
千葉	155	127	4.4	28	徳島	33	22	0.8	11
東京	220	204	7.1	16	香川	32	33	1.2	1
神奈川	152	129	4.5	23	愛媛	62	58	2.0	4
新潟	54	50	1.7	4	高知	29	29	1.0	0
富山	33	30	1.0	3	福岡	112	110	3.8	2
石川	29	29	1.0	0	佐賀	29	26	0.9	3
福井	18	17	0.6	1	長崎	46	42	1.5	4
山梨	24	22	0.8	2	熊本	51	53	1.8	2
長野	87	74	2.6	13	大分	49	44	1.5	5
岐阜	77	64	2.2	13	宮崎	38	36	1.3	2
静岡	87	81	2.8	6	鹿児島	63	56	2.0	7
愛知	198	184	6.4	14	沖縄	28	26	0.9	2

年間売上高

年間売上高を都道府県別にみると、東京が234億円と全国の13.8%を占め、神奈川（構成比8.9%）、愛知（同7.6%）、大阪（同7.1%）、埼玉、千葉と続いているが、これら上位6県が年間100億円超の売上高となっている。また、この上位6県で全国の売上高の約半分を占めている。

都道府県別の年間売上高（上位10県）

順位	都道府県	ゴルフ練習場数	年間売上高			年間利用者数 (人)	1ゴルフ場当たり	
			(百万円)	構成比 (%)	対11年比 (%)		年間売上高 (万円)	年間利用者数 (人)
全国計		2,868	169,084	100.0	18.1	104,771,105	5,896	36,531
1位	東京	204	23,382	13.8	14.3	9,889,036	11,462	48,476
2位	神奈川	129	15,048	8.9	28.4	7,441,506	11,665	57,686
3位	愛知	184	12,850	7.6	18.5	8,378,196	6,984	45,534
4位	大阪	88	12,082	7.1	21.6	6,629,295	13,730	75,333
5位	埼玉	160	10,871	6.4	4.7	6,341,791	6,794	39,636
6位	千葉	127	10,064	6.0	24.1	6,059,373	7,925	47,712
7位	兵庫	106	8,503	5.0	31.9	5,299,422	8,022	49,995
8位	福岡	110	6,428	3.8	14.9	4,474,056	5,844	40,673
9位	茨城	94	4,504	2.7	20.0	3,212,875	4,792	34,180
10位	静岡	81	4,299	2.5	12.8	2,749,550	5,308	33,945

前回と比べると、宮城を除く46県が減少となっている。減少となった県のうち、東京、神奈川、大阪など34県が2桁台の大幅減少となっている。

1ゴルフ練習場当たりの年間売上高をみると、大阪が1億3730万円と最も大きく、次いで神奈川が1億1665万円、東京が1億1462万円となっており、この上位3県が1億円超となっている。

利用者数

年間利用者数を都道府県別にみると、東京が989万人と最も多く、以下、愛知838万人、神奈川744万人、大阪663万人、埼玉634万人、千葉606万人、兵庫530万人と続いており、この上位7県が年間利用者数500万人超の県となっている。

1ゴルフ練習場当たりの年間利用者数をみると、大阪が7万5333人と最も多く、次いで神奈川5万7686人、兵庫4万9995人、奈良4万9120人、東京4万8476人、沖縄4万7940人となっており、このうち上位2県が5万人超となっている。

都道府県別の1ゴルフ練習場当たり年間利用者数

